

長泉町わくわく塾・伊豆八十八霊場巡礼報告書

報告者 後藤隆徳

年月日 平日 = 2009年2月12日(木・晴)
休日 = 2009年2月22日(日・晴)

回数 2007期 = 第21回巡礼・23名(現地参加2名)
2008期 = 第9回巡礼・16名(現地参加0名)

巡礼寺・順 八十六番札所 安楽寺(あんらくじ)
* 本尊・釈迦如来
* 山号・吉祥山
* 曹洞宗(最勝院・末寺)
* 草創・不明
* 663(天智天皇時代)行基が、当地に来て自から彫り上げた、如来像を祭祀したのが始まりです
その後山崩れで再興不能になり、荒廃が続きました
1534(天文三年)最勝院の僧・精賢が寺を整え安楽寺と改称、曹洞集に改宗した。
* 樹齢千年を越える、大楠の木あり。
* 伊豆市土肥 711 0558-98-0309

距離 15 Km + 約3 Km = 約18 Km

タイム 下土狩6:30 - 土肥峠(船原峠) 安良里・大聖寺8:35 - こあじ鯨「八起」9:20 ~ 40 達磨寺10:15 ~ 45 - 丸山城址公園・昼食11:25 ~ 12:30 - 土肥・安楽寺13:25 ~ 40 - 土肥 舟山入口15:15

温泉 伊豆市・湯の国会館800 - (団体割引で720 -)

祈祷 達磨寺(3000 -)

引用文 「伊豆霊場振興会」HP

バスは下土狩を予定通り出発。三島駅で東京から参加のNHさん・NZさんが乗車。天気は良い。明日は天気が崩れるので幸運だ。土肥で下田のTさん・Sさんを拾う。

8:35、前回最終地の安良里(あらり)・大聖寺を出発。今日の巡礼はR1



今回はトンネルが多い

大きな風見鶏でなく、風見魚？



36をひたすら土肥を目指し北上する。なお、トンネルが9本と多く、歩行には十分注意が必要になる。特に「黄金崎トンネル」は、1Kmと長い上、真ん中の照明が暗く、ヘッドランプが無いと怖い。

ほどなく宇久須(うぐす)の浜に到着。この名物は、「こあじ鮓」。道路沿いの「八起」で購入する。

主人の話では、うちは手で握っているが、他の店は型で作っている。元々、うちが「元祖」で、よそは「インチキ」だと息巻いていた、、、。

ホテル「ニュー岡部」前を通り、賀茂(かも)トンネルを抜けると、小下田に到着。

ここで八十八寺院ではないが、「達磨」で有名な、「達磨寺」に寄る。ここは、京都の達磨寺・法輪寺別院で由緒はある。近くの達磨山との関係は??



休日巡礼は団体で入場し、真っ赤な法衣の住職に「般若心経」を読経して貰った。ただ、住職のお経は早く、ちょっと着いていけなかった。

本堂正面には、高さ5m・重さ3tの巨大なブロンズ製の「達磨大師」が鎮座する。その眼光は鋭く、やましい人間の心を見透かしている様だ。製作者は、長泉町在住の堤 直美氏。これも何かの縁だろう。

右手には、「般若心経」23万7千字で描いたという、大きな「達磨絵」があった。これは信者が寄進したものだが、よくぞここまで描いたという、見事なものだった。髭の黒い部分も文字で描かれている。



(左) 達磨像

(下) 達磨図



「アラという魚」

スズキ科の海水魚。全長約1メートル。体色は紫がかった灰色。北海道以南の日本各地、および中国・フィリピンのやや深海にすむ。冬に美味。おきすずき。魚八夕の別名。

この寺の道路の向かいには、「立木釈尊像」がある。昭和十年、土地の土屋政朗氏が、旅人の安全を祈念し生木に釈尊像を彫った。以前は本当の「生木」だったが、今は「枯れ木」になってしまった。

また、その昔、白隠禅師が伊豆を行脚した際、富士山がよく見えるここで休んだの言い伝えが残っている。

巡礼は更に北上を続ける。今日の天気はマアマアだが、風がちょっと冷たい。富士山は少しモヤっていた。

大久保に来ると、土地のオバサンが魚をさばいていた。聞けば高級魚の「アラ」(ハタ)と教えてくれた。キロ何万円と言ったが本当かなア。(帰着後、ネット調査では、確かに1.5~2Kgで1万でした!)鍋が最高で今夜、18:30に来れば食べさせると言ってくれたが、。。。

路上で「デコポン」を販売していた。平日は購入し食べた。美味しかったが、如何せん店のオヤジの愛想が悪い。よって、休日は素通り。平日は裏山で、Kさんが、美味しい「夏みかん」をゲットした。

腹が減ってきた。トイレがある丸山城址公園で昼食。平日は「土肥桜」が満開で、桜の下で弁当を開いた。



(左) 土肥桜

(下) 丸山城址公園



昼食後、再び土肥を目指す。R 1 3 6 を右折し、土肥中学・高校の脇を通過する。山川の橋を真っ直ぐ北上すると、再びR 1 3 6 を横断し、大きな楠木がある土肥神社に出る。休日巡礼時は、丁度住職が法事で近くの料理屋から出て来た所だったので挨拶を交わした。

裏道を安楽寺に向かう。この周辺は、昔ながらの「渋い」温泉街で、派手な表通りより落ち着きがある。一度は、寄ってみたい所だ。

ほどなく、安楽寺に到着。入口左手に土肥神社より更に立派な楠木が聳える。樹齢は千年。それにしても、凄い樹齢である。



本堂でウロウロしていると、古い色褪せた八十八霊場旗があった。

昔、寺の入口に立てたものかも知れない。



本堂で読経。今日のお寺は1ヶ寺。皆さんの新鮮で元気の良いお経が本堂に響いた。境内にあった豊臣の紋章みたいなものは、聞けば、曹洞宗の紋章とのこと。記念写真を撮りふたたび巡礼。

道は土肥から県道17号になる。小土肥から県道は東に大きく迂回する。歩行は遠回りなので浜を横断する。これで半分程度、短くなる。

ここから舟山まで長く苦しい道が続く。今日、頑張って置かないと次回が更に苦しくなる。平日・休日とも、15時半前後に舟山口に無事到着。長い長い一日が終わった。ご苦労様でした。

私事で恐縮ですが、今日は丁度62回目の誕生日でした。先人・皆さんに感謝・多謝・合掌。



(上) 平日巡礼
(右) 休日巡礼

いずれも 86番・土肥
安楽寺にて

